

令和2年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	サイエンス・イマージョン プログラム	
期 日	令和3年 1 月 25 日 (月) ~27 日 (水) 1 クラス 3 時間	
会 場	多目的教室及び AV 教室	
対 象	1 年生全員 (午前・午後 2 クラスずつ 3 日間で合計 8 クラス)	
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人若手研究者を講師に招き、自身の研究分野に関する講義を聞き、得た情報について議論する。 ・科学的なトピックについて、ディスカッション、プレゼンテーションを行う。(トピックは、講師の先生が複数提示した中から生徒が選択。) ・全活動を英語で行うことで、グローバル社会におけるコミュニケーションツールとしての英語の必要性を知るとともに、英語によるコミュニケーション能力を高める機会とする。 	
内 容	講師：Mr. Daniel Gyan さん 講義テーマ「Parasitology」 Mr. Islam Mohamed さん 講義テーマ「Energy Sustainability」 Mr. Leonard Chirenje さん 講義テーマ「Sustainability Science」 Mr. Umer Saleem 講義テーマ「Natural Disasters」	東京医科歯科大学大学院 横浜国立大学大学院 国連大学 筑波大学大学院
	新型コロナウイルス感染症の影響で、今年は Zoom を利用しオンラインで実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 時間目：講師の先生による研究の紹介・講義 質疑応答。 ・ 2 時間目：プレゼンの方法についての説明。科学的テーマについてのグループ討論、プレゼン原稿準備、講師の先生の指導。 ・ 3 時間目：プレゼン準備→プレゼン→講師の先生によるコメント。 	
		
	Leonard Itayi Chirenje 先生の講義風景	Daniel Gyan 先生 の授業風景

アンケート 評価	①		事前アンケート		事後アンケート	
	質問	プログラムを受けることについてどう思うか		プログラム受講後どう感じたか		
	全体	とても楽しみである	21.9%	とてもよかった	54.3%	
		少し楽しみである	56.6%	どちらかと言えばよかった	42.7%	
		少し面倒だ	20.9%	どちらかと言えばよくなかった	2.7%	
		とてもいやだ	0.7%	とてもよくなかった	0.3%	
	上記理由	科学的内容に興味があるから	30.0%	科学的内容に興味を持ったから	46.0%	
	科学項目	科学的内容に興味を持たないから	7.7%	科学的内容に興味を持たなかったから	1.0%	
	上記理由	英語が好きだから	23.9%	英語を面白いと思ったから	49.7%	
		英語が苦手だから	33.0%	英語を苦手だと思ったから	10.0%	
		人前で発表が好きだから	3.7%	人前で発表することを面白いと思ったから	17.7%	
		人前で発表するのが苦手だから	35.4%	人前で発表することを苦手だと思ったから	11.3%	
		将来英語で話しをする機会が必要だと思っているから	48.1%	将来英語で話しをする機会が必要だと思っているから	62.7%	
	②	事前アンケート		事後アンケート		
	質問	プログラムでどのような力がつくかと期待するか		プログラムを通じてどのような力がついたと思いますか		
科学項目	科学的な知識が増える	39.7%	科学的知識が増えた	48.3%		
英語項目	英語を聴く力が少し向上する	86.9%	英語を聴く力が少し向上した	81.3%		
	英語を話す力が少し向上する	70.4%	英語を話す力が少し向上した	51.3%		
	③	事後アンケート				
		自分も英語に興味があり海外で学んでみたい	21.7%			
		英語の学習に取り組みたい	74.7%			
		英語は苦手なので将来も苦勞しそうだ	18.3%			
		英語を使うというんな開の人とコミュニケーションができて嬉しい	39.7%			
感想など	<ul style="list-style-type: none"> •ただ英語力を向上させるために英語を話すのではなく、科学や寄生虫について学べたので楽しかった。マラリアは、危険で今後の課題がたくさんあるので、技術でその人たちを救えればいいなと思った。(理数科) •集中して聴かないと話の内容についていけないので、英会話には集中力が必要だということが分かった。日本には地震が多いので今回の講演で防災や地震について理解を深めることができ良かった。リモートコミュニケーションのとり方が難しかったですが面と向かって会話をしないので、意外と話しやすいと思った。この貴重な体験をきっかけに今はコロナ禍ですが、国際交流に目を向けられたらいいなと思った。(普通科) •サイエンスイマージョンプログラムを通じて最も感じたことは、今まで以上に英語を勉強しないといけないということです。講師の方の話もところどころしか聞きとれず、最後のプレゼンテーションでも、なかなか文章にすることができなかつたので、語彙力や表現力の幅を広げると同時に「英語で会話をする」「外国人と話す」ということにも積極的に参加し、英語になれていきたいと思いました。(普通科) •講師の方の情熱はカメラを介してでもとても伝わってきて、今回のレクチャーをととても面白く感じました。科学研究に限らず、あらゆる仕事をするにあたって、自分の趣味はもちろん大事だが、社会に貢献することも考えなくてはならない。そして英語を使ったディスカッションやプレ 					

	ゼンに関して、人に伝えるための工夫の仕方が少し分かるようになりました。(理数科)
--	--